



医療法人錦秀会

阪和記念病院の患者様及びご家族様へ

診療情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、あなたの診療情報から得られた研究データを用いる、以下の観察研究を実施しております。

この研究は、医療法人錦秀会の研究倫理審査委員会にて、研究内容が倫理的・科学的観点から問題ないかどうかについて十分な審査が行われた結果、承認を受け、理事長の許可のもとに倫理指針および法令を遵守して行われますので、ご協力をお願い申し上げます。

ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合やこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による診療への不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を完全に削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】

患者背景による急性胆管炎治療成績の検討

【対象となる方】

医療法人錦秀会 阪和記念病院において 2023 年 1 月から 2023 年 12 月に急性胆管炎に対して入院治療を受けた患者様のうち、オプトアウト同意が得られた方

【研究責任者】

阪和記念病院 消化器内科 医員 井上 祐真

【研究の目的】

急性胆管炎は重症化すると敗血症を経て致命的になる、腹部救急疾患である。その治療は抗生剤加療と胆管ドレナージが挙げられるが、診断、治療介入の遅れが予後に関連する。当院では平日に加えて夜間、休日も救急体制で患者を受け入れる中で急性胆管炎患者の診療にも力を入れているが、高齢者や独居者などでは医療サービスへのアクセス不良から発症から受診が遅れる症例が経験される。生活背景による胆管炎予後の詳細は十分に検討されていない。

そこで本研究では、当院での急性胆管炎の診療データを後ろ向きに検討することで、患者背景（性別、年齢、併存疾患、入院経路、介護施設/サービス利用の有無、生活背景、内服薬、既往歴）と疾患特性（胆管炎重症度、胆管炎成因、菌血症の有無）

及び治療内容（抗生剤、内視鏡治療内容、偶発症）と予後（生存率、胆管炎改善までの期間、入院期間、再発の有無、退院時ADL、退院先）との関係を明らかにすることを目的とする。

【利用する診療情報】

身体項目（年齢、性別、身長、体重）

現病歴、既往歴、治療経過

患者背景（併存疾患、入院経路、介護施設/サービス利用の有無、生活背景、内服薬、既往歴）

疾患特性（胆管炎重症度、胆管炎成因、菌血症の有無）

治療内容（抗生剤、内視鏡治療内容、偶発症）

予後（生存率、胆管炎改善までの期間、入院期間、再発の有無、退院時ADL、退院先）

臨床検査結果（採血検査、画像検査）

【利用する者の範囲】

研究責任者及び個人情報管理者のもと、研究情報は本研究の特定関係者のみで利用します。

【研究期間】

研究実施許可日～2024年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【個人情報管理責任者】

医療法人錦秀会 理事長 藪本 武志

【お問合せ先】

阪和記念病院 消化器内科 医員 井上 祐真

電話番号: 06-6696-5591

医療法人錦秀会 医学研究開発部 医学研究支援課 井原 智美

電話番号: 06-6696-3150

※ ご連絡の際には、診察券番号とご氏名、ご連絡先番号をお知らせください。